

第1WG 評価コメント

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

事業番号1-16 政府広報

テレビ番組、ラジオ番組、広報誌は止めた方がよい。

番組からスポットへ完全に振りかえる。多少割高になったとしても、必要性、緊急性の高いテーマに重点化すべき。

スポット番組比率の他、メディア活用法を大幅に見直し、指標も正しい指標を用いて効果を計り直すべき。

災害、伝染病など、緊急に国民に伝える必要のある情報のみテレビのスポット広告、WEBのみで伝えれば十分であろう。

各省の広報との重複を整理する。

政府広報は必要であるが、各省からの要望に対して採用基準を明確にすべき。

各省からの広報予算を政府広報室で吸い上げて効率的効果的に執行すべき。

WGの評価結果

予算要求の縮減(半額)

(廃止 0名 自治体/民間 0名 予算計上見送り 1名)

予算要求縮減: a半額 7名 b1/3程度を縮減 0名 cその他 4名

(政府広報のみ廃止 1名 10%縮減 2名 10~20%縮減 1名)

予算要求通り0名)

とりまとめコメント

政府広報の必要性は多くの評価者が認識したが、内容や手法について抜本的な見直しを行うとともに、予算面でも大幅な見直しが必要である。

よって、当ワーキングでは、予算要求額を半額に縮減することを結論とする。